

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	信頼性工学応用小委員会	主 査 名：日下 彰宏 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：高橋 徹
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	性能設計、リスクマネジメント、防災対策などで重要性が増している確率・統計手法やリスクの概念の理解と普及を会員に促す。 初年度：建築物荷重指針第 1 章、第 2 章の英訳 2 年度：建築物荷重指針の英訳、荷重指針を用いた試設計 3 年度：試設計の継続、次期荷重指針に取り入れるべき新しいリスク概念の整理 4 年度：試設計のまとめ、新しいリスク概念の検討	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：日下彰宏 (小堀鐸二研究所) 幹事：足立高雄 (大林組)、小檜山雅之 (慶應義塾大学) 委員：石川孝重 (日本女子大学)、糸井達哉 (東京大学)、尾崎文宣 (名古屋大学)、久下康太朗 (ガイカーペンター)、高橋徹 (千葉大学)、高田毅士 (東京大学)、趙衍剛 (神奈川大学)、西嶋一欽 (京都大学防災研究所)、肥田剛典 (東京大学)、平田京子 (日本女子大学)、森保宏 (名古屋大学)、山崎賢二 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)	荷重指針試設計 WG：荷重指針を用いた試設計事例の作成 要求性能に基づく荷重評価法検討 WG：荷重指針に取り入れるべき新しいリスク概念の議論	
2019年度予算	210,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s28/

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. ロバスト性など、構造設計・評価における要求性能に関する新しい概念の調査と議論および要求性能と荷重評価法の基本的考え方の整理 2. 試設計例の JCROSSAR における公表
委員会活動の問題点・課題	1. 建築実務への成果展開方策を充実する必要がある